

金大中氏らへの死刑判決阻止に向け



全てへ皆反諸君！

さる1月20日夜、韓国ならの情報によつて、金大中氏らへへ大法陥判決な1月23日朝11時に行なわれることを明らかになつた。

聖ヨハネ大祭領は、この間

「金大中氏らを殺す！」といふ文無的声に、12月以来大法陥判決をひびひにじてきたり、ついに韓国民主化闘争正義一全斗煥体制確立に向ひて、金大中氏らへへ死刑・重刑判決を行なつてゐる。我々は、こうした策動を、12月期をも上まる文無的々々実力的斗争にて粉碎しなければならない。そして、なによりも、金大中氏らへの死刑抹殺攻撃の張本人日本帝国主義に対する斗争を創出していく。1.23全学集会(12CC正門)を突破口に、狹山・三里塚・日韓斗争の大衆的昇場をつくりだし、日本へ侵略と侵略に向けた國内再編攻撃を粉碎しよう。

【金大中氏らへの死刑、重刑判決を許さぬ！】

本へ眞でなうち月光州蜂起をうけつぐ、韓国民衆へ爲したる斗争に、自らの体制の構築を恐れる全斗煥軍事独裁政権は、それ自体、なんら展望のない政治アロケラム(選舉一国会解散)をうち出している。光州蜂起を斗つた5戦士に対する死刑判決、「南韓民族解放戦争事件2「被告」」への死刑判決(780.12.24)在日韓国人政局化、5氏への死刑執行へ攻撃等で、韓國へ民主化と祖国へ統一をバの底から願つ全斗へ人々へへ民族抵抗の上に、自らの体制を確立せんとしている。だからしながら、どうした展望も、朴体制を支えられた高度経済成長もない('80の経済成長率-4%~5%)現状と、そして、なによりも韓国民主へ斗争へこれま

ごの斗争を質、量ともにひりこえた光州蜂起本、韓国へ全てへ民衆をこうえ、全斗煥体制を根底からゆるかしていいる。金大中氏らへの死刑、重刑判決をもって延命せんとする全斗煥に全く未来はないのだ。我々は、不屈に斗う韓国民主化斗争に断乎連帯していかなければならぬ。韓国民主化斗争を築す一切の動きに對して糾弾していかなければならぬ。金大中氏らへのノスズ死刑重刑判決阻止に向ひて斗おう！

【日本へ韓国侵略を許さぬ！】

日本帝国主義は、金大中問題への死刑加担をほのめとする犯罪的役割を演じてゐる。日本政府の意志として昨年の政財界のトッパレベルの訪韓-全斗煥へのテコ入れ(金丸、福田、永野田商會頭、稻葉經田連會長ら)こそ、「日帝の生命線」として韓国新殖民地主義支配を維持し、更なる韓国侵略を強行せんとするものに他ならない。

こうした、日本へ対して、韓山学生は「全斗煥を支える日本帝国主義者へ造反」をスローガンにして斗おつてゐる。我々は、この斗争を断乎として支持し、日本足下の人民の責務として、日本へ斗争を貫徹していかねばならない。日帝の侵略と侵略に向けた國内再編攻撃本意で、金大中氏への死刑加担と、國内へ超反動攻撃は、まさに一体のものとしてタガ付けてゐる。我々は、金大中斗争を「侵略阻止」の斗争として貫徹し、三里塚、狹山斗争と結合させて斗おわねばならない。侵略へ加東・三里塚空港を粉碎する斗争、人民へ分配物資支配を粉碎する斗争、狹山斗争との結合の下、金大中氏死刑判決阻止斗争を斗おう。1.23全学集会を突破口に1~3月韓・狹山・三里塚等へ突起せよ！金大中氏への死刑執行を何がなんでも阻止しよう。全てへ皆反諸君。共に斗わん！

